

茨木市地球温暖化対策実行計画の推進状況

まちの姿1 環境にやさしいライフスタイルが普及しているまち

対策	取組例
低炭素ライフスタイルの普及	エネルギーモニター活用及び普及 低炭素ライフスタイルの普及（省エネ相談会、環境フェア、中小企業セミナー等） エコオフィスプランいばらきの実践 集団回収、古紙類など資源物の分別・再資源化 ごみ減量意識の啓発、事業所への訪問指導
更新時期における機器効率の向上	買い換え時における高効率機器の購入

実施した施策

環境フェアの開催

3R推進月間のメイン行事として、市民・事業者・市が連携し、広く茨木市の環境の現状や対策、環境に関する情報をわかりやすく提供し、これからの本市の環境について考える場として実施。

毎年テーマを設定し、各種催しや講座等を実施。

【開催実績】

開催日	テーマ	参加人数
平成22年10月2日・3日	地球にやさしい毎日を・・・ あなたの生活にエコサブリ！	5,200人
平成23年10月16日・17日	～省エネを「知って・学んで・実践する」 今日からの省エネ生活！～	4,600人
平成24年10月20日・21日	“省エネ”と“創エネ”で『心も体も快適生活』	5,300人

省エネナビモニター制度

省エネルギー効果を目で見て把握できる「省エネナビ」を市民等に貸し出し、電気使用量や工夫した点などを定期的に市に報告していただいた。

モニター時期	期間	取組世帯（団体）数	モニターからの声
第1期	平成23年7月～12月	19	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の目標値が表示されるので、それを超えないように、コンセントを抜いたり、エアコンを止めるなどして、取り組んだ。 ・昨年と比較し電気使用量が20%以上削減できた。 ・子どもたちが意識的に無駄な電気を消すようになった。 ・自身で省エネナビを購入し、引き続き取り組みを継続する。 ・子育て支援施設に設置し、子どもたちがモニターを見て、少しでも各自宅での節電に興味を示してくれたらと常に啓発をしている。

第2期	平成24年1月 ～6月	15	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内において、こまめな消灯・空調温度設定等、節電意識がより高まった。 ・電力の使用量が目で見てわかるので、節電に取り組みしやすい。目標設定がされており、消費電力が設定オーバーしたときには警告音で知らせてくれるので、非常に便利。 ・毎日数字を見ることによって、自分の生活を見直し、節電の工夫へとつながる。 ・リアルタイムに出る数字で生活を振り返り、無駄な使用を極力避けた。 ・今後においても、さらに工夫して、節電に努めたい。 ・少しの努力で20%も節電。まだまだ減らす工夫は可能と思った。 ・原発事故以来、不便な生活、一昔前の生活にも対応できるようにと感じる。
第3期	平成24年7月 ～12月	5	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネナビの数字を見ることで、省エネ意識が継続するとともに、電気製品の使用について、必要がないのにいかに無意識に使って来たかが理解できた。

高効率給湯器等補助制度の実施（平成24年8月～）

省エネルギー対策及び太陽熱エネルギーの利用促進を図るため、自ら居住する住宅に高効率給湯器や太陽熱温水器を設置する市民を対象とした補助制度を8月に創設。

【平成24年度補助実績】

補助対象機器	補助件数	
太陽熱温水器（太陽熱の利用により水を温める装置）	1件	
エコキュート（CO ₂ 冷媒ヒートポンプ給湯器）	34件	
エコウィル（ガスエンジン給湯器）	33件	
エコジョーズ（潜熱回収型給湯器）	155件	
エネファーム（家庭用燃料電池）	53件	
1月21日現在：合計	276件	10,394千円
年間二酸化炭素削減量	168.56tCO ₂	

緑のカーテン推進

・緑のカーテン市民モニター事業

ヒートアイランド現象を緩和するため、家庭でゴーヤを育てて頂き、観察記録をつけていただくことで、気温が下がることなどの効果を検証する。

配布物：ゴーヤの苗、温度計等

年度	市民	事業所
平成22年度	69名	10事業所
平成23年度	43名	5事業所
平成24年度	54名	3事業所

・学校等における緑のカーテン推進事業

市内の小中学校等において、気温の上昇を抑制する効果がある緑のカーテンの取り組みを推進し、この取り組みを環境学習の機会として、子ども達の省エネ意識を高める。

(実施場所) 市立幼稚園12園、市立小学校30校、市立中学校12校、
学童保育11か所、市立保育所11か所(あけぼの学園含む)

【啓発等】平成24年10月の環境フェアで、取組状況をパネル展示、リーフレット配布

エコオフィスプランいばらきの実践

市の事務事業や公共施設において、率先して環境に配慮した行動を実践し、環境への負荷の少ない職場づくりを進めるため、具体的な目標や全職員が取り組むべき内容、その推進や点検体制を定めた本計画に基づき、組織的な取組を行っている。

【推進状況】

	19年度 (基準年度)	22年度	23年度	23年度 (19年度比)
普通ごみ(t)	566.8	439.8	431.6	23.9%
用紙類(枚)	46,784,821	53,351,817	54,519,050	16.5%
電気(kWh)	34,574,471	37,044,979	34,542,677	0.1%
都市ガス(m ³)	1,469,701	1,624,089	1,322,777	10.0%
ガソリン()	117,846	125,078	127,451	8.1%
軽油()	140,074	126,055	116,515	16.8%
水道(m ³)	700,441	644,923	640,314	8.6%

ごみの減量化と再資源化に向けた取組

ごみの減量や資源の有効利用を図るため、自主的に古新聞・雑誌等の再生資源集団回収を行う地域住民団体に対して、活動に必要な資材の購入や活動費用の一部として報奨金を支給。

【子ども会や自治会等への再生資源の集団回収に対する助成実績】

年 度	回収量(t)	支給団体数	助成金額(千円)
平成22年度	10,857	393	19,714
平成23年度	10,803	397	19,874
平成24年度	登録団体: 406団体		-

ごみ減量意識の啓発

・廃棄物減量等推進員の活動

行政と地域住民の橋渡し役として、各地域で廃棄物の減量と再資源化の推進に協力し、ごみの適正排出の指導啓発やごみ集積場所の適正管理等の活動を行っている。

また、減量推進員ニュースを隔月に発行している。

【登録人数】

年 度	登録人数	各自治会数・各団体数
平成20・21年度	4 4 7 人	3 5 2 自治会 3 団体
平成22・23年度	4 2 6 人	3 4 3 自治会 2 団体
平成24年度	4 3 4 人	3 4 8 自治会 4 団体 (平成25年 1 月31日現在)

・ 生ごみ処理容器等への購入補助

一般家庭から出る生ごみの減量化と再資源化を図るため、平成5年度からコンポスト等の電源を必要としない生ごみたい肥化容器の補助制度を実施。平成12年度からは、電気式生ごみ処理機に対しても補助制度を実施。

【生ごみ処理容器等への購入補助実績】

	電源を必要としない容器	電源を必要とする容器
平成22年度	1 4 基 (1 2 名)	6 1 基 (6 1 名)
平成23年度	1 5 基 (1 2 名)	4 3 基 (4 3 名)
平成24年度	1 7 基 (1 3 名)	3 8 基 (3 8 名)

1/31現在

・ 市民への啓発及び情報提供

【出前講座等】

	環境政策課	環境事業課 (小学校4年生)	環境衛生センター
平成22年度	1 7 5 人(2 団体)	9 小学校	1 , 1 3 4 人(2 5 団体)
平成23年度	3 7 2 人(8 団体)	1 0 小学校	1 , 0 8 3 人(3 0 団体)
平成24年度 (1月31日現在)	5 9 2 人(9 団体)	9 小学校	1 , 4 4 4 人(3 3 団体)

平成23年度に小学校4年生向け副読本の内容を見直し配布

【情報提供】

ホームページ・広報誌(毎月)へごみ・資源物の排出方法・注意点等の記事を掲載

事業所への訪問指導

・「茨木市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例」に基づき、多量排出事業者(月3t以上事業系一般廃棄物を排出する事業者)に減量計画書の提出及び廃棄物管理責任者の提出を依頼するとともに、減量計画書に基づき事業所を訪問し、廃棄物の減量化・再資源化の取組状況の把握及び指導を行った。

まちの姿2

多様なくらし、なりわいができるまち～再生可能エネルギーの導入・熱の活用

対策	取組例
再生可能エネルギー利用	再生可能エネルギー導入（太陽光発電・太陽熱パネル等）

実施した施策

住宅用太陽光発電システム設置補助の実施

太陽光発電システムの普及促進と環境保全意識向上のため、府内で初めて、住宅用太陽光発電システムを設置する市民に対する補助制度を平成16年度から実施している。

（補助額）16年度～17年度：1kwあたり4.5万円 上限3kw

18年度～23年度：1kwあたり3.0万円 上限4kw

【補助実績】

年度	補助件数	補助金額（千円）	設置出力（kW）	年間CO ₂ 削減量
22	273	27,173	1,008.42	317.1tCO ₂
23	265	26,863	1,010.07	317.7tCO ₂
24	407	42,170	1,637.32	514.9tCO ₂

省エネ・省CO₂設備導入補助の実施（平成24年8月～）

国からの補助金を受けたグリーンニューディール基金の活用により、平成22・23年度に複数の省エネルギー設備を導入した民間事業者を対象に補助制度を実施。

43事業者にLED照明、高効率給湯器などの設備導入により、約147トンのCO₂の削減効果。

これらの効果を踏まえ、地球温暖化対策実行計画の具体的な事業として、新たに市内中小企業者を対象とした、省エネルギー設備等の導入促進を図る補助制度を創設。

【平成24年度補助実績】

補助件数	8件
補助金額	13,388千円
導入設備内訳	太陽光発電設備 6件
	LED照明及び空調設備 1件
	LED照明 1件
年間CO ₂ 削減量	90.27tCO ₂

公共施設への太陽光発電システム設置事業

・再生可能エネルギーの普及促進を図るため、固定価格買取制度を活用し、公共施設へ太陽光発電システムを設置する事業者を提案公募型により募集。

・対象施設は、一般廃棄物最終処分場、市民体育館、水道の配水池（2か所）

まちの姿3 人にも環境にもやさしく移動ができるまち

対策	取組例
効率改善	電気自動車・プラグインハイブリッド車等の普及・導入
エコ交通行動推進	教習所と連携したエコドライブ普及、実践

実施した施策

電気自動車・エコカー等の普及促進

電気自動車等への乗り換え意欲を促進するため、試乗会を実施。(環境フェア)

平成24年度環境フェア 電気自動車試乗者数 72人(10/20:24人、10/21:48人)

府内の充電設備設置状況等をHPへ掲載。

エコドライブシュミレーター体験の実施(環境フェア)

まちの姿4 環境負荷が小さいまちづくりが進んでいるまち

対策	取組例
低炭素まちづくりへの誘導	駐車場の電灯や街路灯へのLED導入・普及

実施した施策

公共施設等のLED化

- ・市役所本館・南館(1・2階)照明のLED化
- ・市営駐車場照明のLED化(8駐車場)
- ・街路灯のLED照明化(市内中心部から計画的に実施)

まちの姿5 環境意識が次世代へ継承されるまち～環境エネルギー教育の推進～

対策	取組例
環境・エネルギー教育の推進	「いばらき環境家計簿」の実践・普及

実施した施策

環境教育ボランティア制度

- ・地域における環境保全活動を推進し、市民が求める環境問題に関する学習会・研修会
- ・観察会等に対し、環境教育ボランティアとしてその役割を担う者を募集し、登録する制度。
- ・2年に1回登録の更新が必要
- ・市民、学校、地域からの 派遣要請に応じ、市が環境教育ボランティアを紹介。

環境教育ボランティア登録人数	環境教育ボランティア派遣実績
22年度実績 42人	22年度実績 104人
23年度実績 40人	23年度実績 80人
24年度実績 40人	24年度実績 80人(1/末現在)

- ・環境学習メニュー発行

学校をはじめ家庭、地域などのさまざまな場において広く活用していただくために、自然環境から地球環境問題まで、それぞれの方の専門分野についての具体的な講座を「環境学習メニュー」としてまとめ、発行している。

- ・環境教育ボランティア市民講座の実施
- ・6月・7月・8月・9月・11月の連続講座については、環境教育ボランティア連絡会幹事会が企画運営し、市と共同で開催した。
- ・環境フェアにおいて、市主催による環境教育ボランティアによる観察会・講座を実施。

幼児環境教育の実施

保育所等での環境教育の機会の充実を図るため、また、指導者の環境意識の向上を図るため実施した。

【実施状況】

平成24年度	対象	中津保育所5歳児(24名) 市立保育所5歳児担任(15名)
	テーマ	「自然と遊ぼう」
	内容	視覚教材を通して、自然への興味、関心を持つ 中津保育所の所庭において、いろいろな生き物や草花を観察し、遊び方を学ぶ。
平成23年度	対象	春日保育所5歳児(23名) 市立保育所5歳児担任(11名)
	テーマ	見て、見て、触って、感じて、大発見!!」
	内容	・虫眼鏡の使い方を知る。 ・肉眼と虫メガネを通して見える違いを知る。
平成22年度	対象	郡保育所5歳児(28名) 市立保育所5歳児担任(11名)
	テーマ	「自然であそぼう」
	内容	・視覚教材を通して、自然への興味、関心を持つ ・郡保育所の所庭において、いろいろな生き物や草花を観察し、遊び方を学ぶ

環境家計簿の普及促進

【市民参加型事業の実施】

・環境家計簿の普及促進を中心とする市民参加型の事業を市内での各種環境保全活動に取り組む市民団体と協働（委託）し実施。（委託期間 7月～3月）

【平成24年度事業実績】

講座名等	参加人数
親子で自然と仲良く「心の環境スクール」	31人
自然楽習会 in 大正川事業	53人
親子でビーチコーミング 海岸清掃)を題材にした事業(資源を大切にすること)	42人
エコ料理教室(子ども対象)	24人
エコ布ぞうり教室(省資源・省エネルギー)	50人
竹細工教室事業	45人
環境家計簿作成事業(平成25年度分を作成中)	

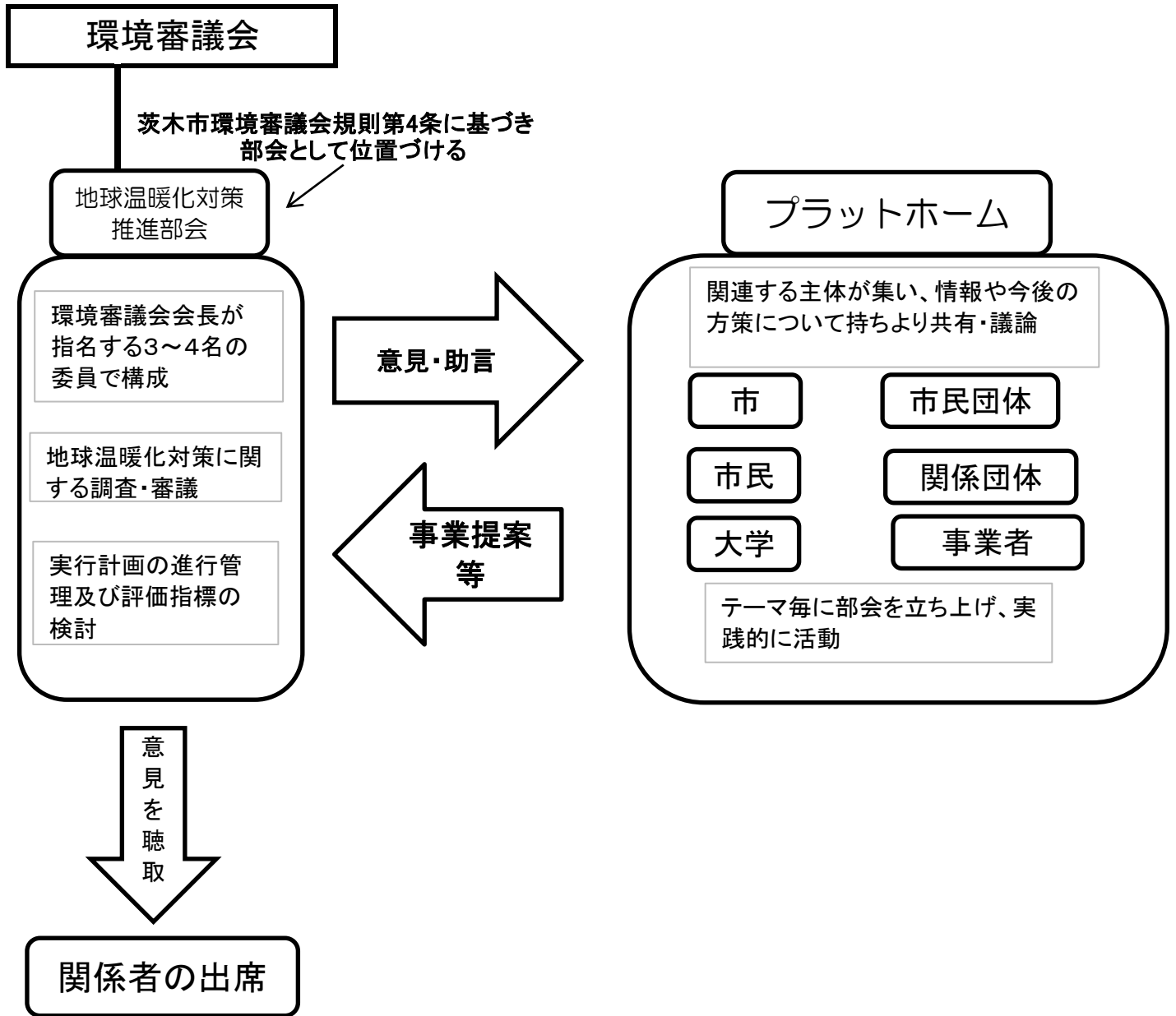
【平成23年度事業実績】

講座名等	参加人数
親子でクレヨンハンカチワークショップ事業	23人
自然楽習会 in 大正川事業	57人
エコ料理教室(お正月料理)	22人
エコ布ぞうり教室(省資源・省エネルギー)	50人
竹細工教室事業	32人
子ども向け環境教育ツール作成事業(いばらき環境カードの作成)	

【平成22年度事業実績】

講座名等	参加人数
親子エコ教室	23人
竹細工教室	15人
エコ料理教室	24人
環境家計簿の普及(個別診断及び情報交換会)	62人(4回実施)
環境家計簿の作成	
環境家計簿補助ツールの作成	
子ども向け環境家計簿に関する検討会	

◆平成25年度からの茨木市地球温暖化対策実行計画の推進体制について(案)



茨木市地球温暖化対策実行計画における評価指標例

まちの姿	評価指標例
全てのまちの姿に共通	1人あたりのエネルギー消費量(GJ/人)
	部門別排出量(t・CO ₂ /固有単位)
1 環境にやさしいライフスタイルが普及しているまち	エネルギーモニター活用による削減量(t・CO ₂ /年)
	高効率給湯器の設置台数(件)
2 多様なくらし、なりわいができるまち ～再生可能エネルギーの導入・熱の活用～	太陽光発電導入量(kw)(市補助分)
	低炭素化に取り組んだ地域・商店街の数(か所)
3 人にも環境にもやさしく移動ができるまち	1人あたり市内の公共交通利用回数(回/年)
	1人あたりの市内の自家用車の登録台数(台/人)
	レンタサイクル導入台数(台)
4 環境負荷が小さいまちづくりが進んでいるまち	—
5 環境意識が次世代へ継承されるまち ～環境エネルギー教育の推進～	里山保全体験人数(人/年)
	市民農園入園者数(人/年)